

## 会 議 録

会 議 名	平成 2 9 年度第 2 回野田市行政改革推進委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び 検討について（公開） 2 教育委員会に属する事務の管理並びに執行管理の点 検及び評価について（公開）
日 時	平成 3 0 年 1 月 2 4 日（水） 午前 1 0 時から午後 0 時 4 5 分まで
場 所	市役所 8 階 大会議室
出席委員氏名	会長：板垣光子 副会長：山本和也 委員：小松栄、田中かよ子、中野祐三郎、 笛木三郎、藤田進、谷田貝しづ子
欠席委員氏名	染谷よし江、横川しげ子
事 務 局	今村繁（副市長）、東條三枝子（教育長）、佐賀忠（総務部 長）、町田藤夫（自然経済推進部長）、桑原辰夫（学校教 育部長）、伊藤公夫（生涯学習部次長兼社会教育課長） 、長妻美孝（学校教育部次長兼学校教育課長）、矢部雅 彦（学校教育部参事兼指導課長）、佐久間進（みどりと水 のまちづくり課長）、中村利夫（教育総務課長）、岡田通洋 （社会体育課長）、横島司（青少年課長）、寺田幸生（興風 図書館長）、大久保貞則（行政管理課長）、渡邊宏治（行政管 理課長補佐）、小島修次（行政管理課事務管理係長）、島津 奈身（行政管理課事務管理係主任主事）
傍 聴 者	3 名
議 事	第 2 回野田市行政改革推進委員会の会議結果（概要） は、次のとおりである。
行政管理課長補佐	平成 3 0 年 1 月 2 4 日午前 1 0 時、開会を宣言し、会 議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並びに

	<p>会議録及び会議資料の公開について説明した。</p> <p>会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。</p> <p>議題1 一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について（公開）</p>
板垣会長	議題1について、説明を求めた。
自然経済推進部長	< 議題1について説明 >
みどりと水のまちづくり課長	< 議題1について追加説明 >
笹木委員	<p>貸借対照表の有形固定資産の工事未収金5億3千百万円について、何の未収金なのか内訳を教えてください。</p>
自然経済推進部長	<p>工事未収金については、けやきコースの建設費である。本来、野田市スポーツ公園のゴルフ場として市が工事を行うところを、開発協会が市中銀行から借入れをして工事を行ったもので、それが市からの未収金となっている。</p>
笹木委員	副市長に尋ねるが、工事未収金5億3千百万円は開発協会にいつ支払うのか。
副市長	当時の契約により分割で支払うことになっており、平成33年度に支払いが終了することとなっている。
笹木委員	建物を含めると10億円の固定資産となるが、年間の償却費はいくらになるのか。
自然経済推進部長	けやきコースは、市の所有であり開発協会の所有ではないので、償却費は見込んでいない。
笹木委員	副市長に尋ねるが、長期借入金の12億8千万円は銀行からの借入れにおいて市が補償しているのか。
副市長	これまでは市が損失補償をしていたが、一般財団法人への移行後は市が損失補償をしてはいけなくなっている。33年度に借入れをしなければならないときは、市は損失補償ができないため開発協会の信用で融資

	<p>を受けることになる。したがって、それまでは安定した経営状況を続ける必要がある。もし倒産となった場合は、損失補償をしている分については市が責任を負うことになる。</p>
中野委員	<p>けやきコースは市の所有財産ということだが、ひばりコースも市の所有なのか。</p>
自然経済推進部長	<p>資料中、固定資産のコース施設についてはひばりコースのことである。ひばりコースは開発協会が独自に整備したものである。有形固定資産として載っているものはひばりコースの資産である。</p>
中野委員	<p>ひばりコースは開発協会の資産で、けやきコースについては野田市の財産ということで、けやきコースで借りた長期借入金については市が負担し、ひばりコースのものは開発協会が負担するということが。</p>
自然経済推進部長	<p>ひばりコースは40年前に開発協会が整備したものであり、クラブハウス等も全て開発協会の所有である。一方で、けやきコースは平成8年にオープンし、野田市スポーツ公園の一部として市が整備したものであることから、性格の違いがある。</p>
中野委員	<p>ひばりコースの借入れについても、市が補償をして返済しているのか。</p>
自然経済推進部長	<p>ひばりコースに関連した借入れについても市の損失補償はあったが、全て返済し終わっている。</p>
山本副会長	<p>ゴルフ人口が毎年1%程減少するということが記載されているが、10年経つと10%となり、そうすると10万人を割る可能性が危惧される。ひばりコースはスループレーで使いやすく、特に若い方にとっては丸1日費やすこともなく半日で回れるというような工夫が必要と思われるが、将来的にけやきコースについての計画等があれば教えてほしい。</p>

自然経済推進部長

ひばりコースは平成25年度からスループレーにスタイルを変え、またレストランも廃止した。合わせて早朝ハーフプレーをひばりコース、けやきコースともに始め、時間を有効に使いたい、また、短時間だけプレーしたいというニーズを取り込んできた。近年は、ゴルフ人口の減少対策として、ジュニアの育成を行っている。内容として、ひばりコースでは20歳以下はゴルフ用品の貸出しをすべて無料とし、また、高齢者についてもひばりコースにおいては70歳以上のシニアはレンタル無料となっている。今後、これらをけやきコースに拡大するか検討中である。

藤田委員

資料2ページ(1)市の支援策 建設償還金の猶予に「さらに、長期間に渡るゴルフ場のクローズ等により、単年度収支が悪化する場合は、公有財産購入費を繰上償還することにより、資金の確保を図ります。」とあるが具体的にどのようなことをするのか。また、繰上償還するとあるが、この場合の財源は何か教えてほしい。

自然経済推進部長

ひばりコースにおいては過去に大きな災害等があり、これに備えて記載しているもので、今のところこのような事態となる見込みはないが、万一あった場合に市からの公有財産購入費の1億1千3百万円ほどを先出しし運営を助けようという考えである。現在の経営計画では、建設償還金の償還は33年度に終わるので、この財源は使わなくて済むと考えている。

藤田委員

長期借入金について、借入日、償還日、借入額、借入利率を教えてほしい。また、金利については融資先の借換え等の検討をして利子の額を軽減していくことを考えていると思うが、どのように考えているか。

自然経済推進部長

借入金については大きく分けて二つあり、一つは建設償還金で市から工事未収金分として入るもので、もう一

	<p>つは運転資金として借入れしたものである。</p> <p>建設償還金の借入先については、みずほ銀行、三井住友銀行、ちば東葛農業協同組合、千葉銀行、千葉興業銀行、京葉銀行の6行である。運転資金については、借入期間は10年で、借入先は千葉銀行、千葉興業銀行、京葉銀行、ちば東葛農業協同組合である。利率については、建設償還金は1.965%から2.075%で銀行により異なり、運転資金は平均2.04%である。</p>
藤田委員	<p>借入金の具体的な内容について、できたらペーパーで頂きたい。また、マイナス金利時代なので借換えについてはどのように考えているのか教えてほしい。</p>
自然経済推進部長	<p>資料については後ほど提出する。</p> <p>借換えについては、市の損失補償がない中で、10億円以上の借換えは現実的に難しい。市の損失補償は付けられないので、開発協会が10億円以上の借入れを信用で受けることは難しい。</p>
藤田委員	<p>借換えについては問題があるということだが、借入金利が2%を超えており、少し高いと思われる。もう少し低金利で借りられると思う。支出を抑え経営を安定させるためにも、より一層の努力をお願いしたい。</p>
副市長	<p>債務超過に陥っていた状態からの市の損失補償なしでの借換えは難しいと思われるが、33年度には損失補償なしで借入れをしなければならないので、金融機関については働きかけを行い、融資の可能性について33年度を見据えた交渉を進めたい。</p>
藤田委員	<p>民間の金融機関が難しいのであれば、政府系金融機関や補助金などほかの方法もあるかと思うので検討していただきたい。</p>
小松委員	<p>関連して、借換えではなく金利の交渉をすることを提案する。</p>

<p>自然経済推進部長 谷田貝委員</p>	<p>頂いた御意見を踏まえて金融機関に話をしたい。 ひばりコースではレンタル無料等のジュニア対策を行っているが、ジュニアの利用数や割合はどのくらいか。</p>
<p>自然経済推進部長  谷田貝委員</p>	<p>まだまだ少ないのが現状である。ひばりコースは西武台千葉高校のゴルフ部の皆さんに御利用いただいている。  子供たちが楽しめるゴルフ場でもあってほしい。また、参加者の声、利用者の声をまとめて参考にしたら良いかと思う。</p>
<p>自然経済推進部長  谷田貝委員</p>	<p>積極的に利用者の声を反映させるため、職員全員を対象に毎月1回全体会議を実施しており、その中で様々な利用者の声、御意見について改善できるものは直している。今年度は1月までに88件の提案があり、できることから利用者のニーズやご希望に沿ってコースを改善していくことに努めている。  可能であれば、そのような内容も資料に添付していただきたい。</p>
<p>自然経済推進部長 田中委員</p>	<p>次回から資料として添付する。  2ページの物件費削減で8%の削減とあるが、具体的な内容を教えてほしい。また、4ページに31年度からは職員の退職金の支払いが発生するとあるが、この退職金に充てるために何か対処等を行っているか。</p>
<p>自然経済推進部長  田中委員</p>	<p>物件費の削減については、節電、節水等の実施、また、農薬等はより良いものを使い経費の削減を図っている。管理機械については、メンテナンスをしっかりと行い長期的に使うようにしている。  次に、退職金については退職金の積立て等はない。その年ごとの収支から退職者に退職金を支払っていく。</p>
<p>田中委員</p>	<p>退職金の支払いに関しては必ず生じるものなので、中</p>

自然経済推進部長	<p>小企業退職金共済（以下、「中退共」という。）事業等を行ったらどうか。</p> <p>中退共については検討している。34年度に約4千万円の現金預金がマイナスとなる。長期借入金の支出等で必ずマイナスとなることが明らかとなっていることから、今、中退共に加入し年に1千万円から2千万円を積み立てることは、33年度末から34年度に借りる金額が1億円から1億5千万円になり、借りるハードルが上がってしまう。そのため、33年度末から34年度の借入れ後に中退共等を検討したい。</p>
藤田委員	<p>退職金の積立ては、当然として積立てをするべきものとするが、積立てをしていないということは決算上どうなるのか教えてほしい。</p>
自然経済推進部長	<p>中退共に加入し掛金を支払えば税金は若干安くなる。これを加味し、中退共に加入し年間1千万円から2千万円を積み立てた場合、33年度末の借入れの予定は1億円だが、これが1億5千万円となったときに開発協会では借入れができるのか。それならば収支計画の中で退職金を支払っていく方が結果としてセーフティではないかと判断したことから、現在は中退共に加入していない。</p>
藤田委員	<p>毎年積み立てる積立金は損金として計上できるのか。</p>
自然経済推進部長	<p>退職金については、基金からの支出でも当該年度に損金計上となる。毎年1千万円や2千万円を基金に積立しても、積立金は控除の対象にはならない。この場合は、職員が退職しその基金から退職金を支払った年度に控除となる。</p>
中野委員	<p>退職金を支払うために積立てをすると借入金が増えるということだが、積立てをするとその分が増える仕組みがよく分からない。</p>
自然経済推進部長	<p>中退共については、平成25年から議論を重ね、1人</p>

月3万円の積立てをすると年間で約1千万円の支出が増え、その分は職員が退職するときに中退共から支払われるので開発協会の現金預金は減らないが、開発協会にはそこまでの余裕がないことから当該年度に支払いをした方がよいとの結論となった。当該年度に退職者が1人や2人のときは3千万円や4千万円をその年度に支払えばよいが、中退共に加入すると職員全員分の積立てとなり年1千万円や1千5百万円といった額が年度ごとに重なっていく。経営が厳しいと想定される34年度にどうするか検討したところ、中退共に加入して全職員の退職金を積み立てていくよりも、34年に当該年度の退職者に収益の中から支払う方が結果的に存続の可能性は高くなるとの結論となった。

中野委員

31年度から34年度の退職金の支払いの金額はどのくらい想定されているのか。

自然経済推進部長

31年度に4千5百万円、32年度に千2百万円、33年度に4千3百万円、34年度に5千9百万円、35年度に3千6百万円、36年度に2千万円、37年度に8千百万円、38年度に6百万円となっている。開発協会の人員構成は、40年前にひばりコースがオープンした時期に雇用した職員と、20年前にけやきコースがオープンした時期に雇用した職員の大きく2つに分かれている。31年度からの退職金の支払いは、ひばりコースで雇用した職員の退職時期が始まり、その後けやきコースで雇用した職員の退職者が続く支払計画となっている。

板垣会長

議題1について了承でよいか問うた。

<全員賛成にて了承>

議題2 教育委員会に属する事務の管理並びに執行管理の点検及び評価について



板垣会長	教育長に挨拶を求めた。
教育長	<挨拶>
板垣会長	議事の進め方は、資料の「目標」ごとに審議をすることによろしいか。
	<異議無し>
板垣会長	各目標の説明に入る前に、制度の概要と点検・評価の方法について、説明を求めた。
生涯学習部次長	<説明>
板垣会長	「目標1」について説明を求めた。
生涯学習部次長	<目標1(1)及び(8)について説明>
学校教育部長	<目標1(2)から(7)及び(9)について説明>
板垣会長	「目標1」について質疑を求めた。
中野委員	市のホームページを拝見したところ教育費の予算について、28年度が79億、29年度が48億だったが、減った理由は何か。目標1から目標3まで予算・決算額の欄を合計すると29年度予算額が35億、28年度決算額が23億だったが、どのような理由からなのか。
教育総務課長	市のホームページに掲載されている教育費の平成29年度当初予算は、平成28年度当初予算と比べると2,326,928千円減額となっている。減額の主な理由として、平成28年度当初予算には中学校空調設備設置事業費1,683,764千円が計上されていたためである。平成29年度に実施した小学校及び幼稚園の空調設備設置工事の事業費2,798,046千円は、国の補正予算に係る対応として、平成28年度の補正予算に計上したが、平成29年度に繰り越したことから、平成29年度当初予算には含まれていない。 一方、平成29年度事業評価報告書では、重点目標「学校施設・設備の充実」の本年度予算額は、現計予算として繰り越した小学校及び幼稚園の空調設備設置工事

藤田委員	<p>の事業費が含まれているため、前年度決算額と比較して大幅に増えている。</p>
指導課長	<p>いじめ実態調査について、教師同士のいじめや教師から子供のいじめについて調査を実施しているか。</p>
学校教育部長	<p>教師から子供のいじめについては、年2回実施するいじめアンケート等で把握している。子供が「教師からいじめられている」と認識している例がある。小学生は「自分ばかり怒られる」、中学生は「心ない一言をかけられる」、「自分がやりたくない仕事をやらされる」を「教師からのいじめ」と捉えている。誤解のないよう丁寧に対応していきたい。</p>
板垣会長	<p>「教師が教師をいじめる」ということを直接調査したことはない。ストレスチェックでは、こうした事案があがっていない。また、教育委員会に教師から相談されたケースもないことから、「教師が教師をいじめる」という事案はないと判断している。</p>
学校教育部長	<p>いじめの実態調査は、個人情報の問題や個人を尊重する上で、非常に大変だと思う。丁寧な御指導をさせていただいていることに感謝する。資料の中で、6月実施の第1回目調査から、9月実施の追跡調査では認知件数が減少している。今後の対応で、道徳教育の充実をしていきたいとあるが、具体的にどのように考えているのか。</p>
板垣会長	<p>今までは教科ではなく「道徳の時間」として授業を行ってきたが、30年度から「特別の教科 道徳」となる。教科化になった理由は全国で深刻ないじめが起きたためである。いじめに関する教材を多く扱い、子供たちに多様な考えを出させる議論をすることとしている。</p>
	<p>児童生徒主体の道徳教育につなげていくということによろしいか。自分には関係ないから自分の問題ではないといった大人の世相が子供たちに影響しているのであれ</p>

学校教育部長	<p>ば、大人の責任、保護者の責任もあると思う。子供たちの主体性だけではなく、保護者も入るような道德教育のようなものを検討してほしい。</p>
藤田委員	<p>30年度は中学生に対して外部の人材を使いながら、いじめ傍観者を防ぐための授業を行う。</p>
指導課長	<p>全国学力学習状況調査の結果は、全国や県と比較するとどのような状況なのか。</p>
藤田委員	<p>全国学力学習状況調査は小学校6年生、中学校3年生を対象に、算数・数学、国語の2教科で実施している。各教科で基礎基本を重視したA問題と、資料の活用や自分の考えを表現するB問題がある。全国と千葉県の正答率は近い値となっている。小学校は算数、国語のA、B問題全てにおいて、全国平均をやや上回り、中学校は数学、国語のA、B問題全てにおいて、全国平均をやや下回る状況である。一方で、算数、数学のA問題の正答率が上がっており、今回は小中とも過去最高の結果となっている。</p>
指導課長	<p>また、同調査では生活面のアンケートも行っており、朝食を食べている率が全国よりも低いことが判明した。</p>
藤田委員	<p>千葉県全体の中で、野田市の位置はどのあたりか。</p>
指導課長	<p>他市の平均点が分からないため、把握していない。</p>
藤田委員	<p>朝食欠食率の割合を教えてほしい。</p>
学校教育課長	<p>小学校4年生から6年生までの朝食欠食率は、平成28年度に4.4%、平成29年度に4.2%であり、欠食率が0.2%減少した。また、中学校1年生から3年生の朝食欠食率は、平成28年度6.5%、平成29年度に5.5%であり、欠食率が1.0%減少した。</p>
藤田委員	<p>家庭の問題もあり非常に難しい課題だと思うが、再度、意気込みや考え方を教えてほしい。</p>
学校教育課長	<p>「早寝、早起き、朝ご飯」というフレーズで推進をし</p>

	<p>ている。生活習慣そのものを改善する取組としたい。朝食は、栄養の源になる部分で、特に午前中の活動に欠かせないことから、保健の授業や部活動を含めて根気よく推進していく。</p>
藤田委員	<p>保護者への取組を教えてほしい。</p>
学校教育課長	<p>12月にPTAの連絡協議会の中で、食育の講義を行った。</p>
教育長	<p>保護者向けの食育の啓発に関して話があったが、学校によっては、朝食を食べてこないことを深刻な問題として捉えている学校がある。取組内容としては、授業中以外に保護者会などで、栄養士や養護教諭から朝食の大切さを訴えること、それから「学校だより」に盛り込むなど、学校を上げて取り組むことによって成果が出ている学校もある。市全体でも改善していきたい。</p>
藤田委員	<p>働き方改革をどう進めているのか。</p>
学校教育課長	<p>小学校で導入した学級事務支援員事業は、国の業務改善加速事業の委託を受け進めている事業で、この導入をきっかけに業務改善に積極的に取り組んでいる。その結果として、28年度に比べて時間外勤務時間の縮減が図られるなど、成果が見られている。今後は、中学校にも拡充し、更に業務改善を推進していきたい。また、29年度は部活動ガイドラインの策定にも取り組んでおり、中学校の教員の働き方改革に結びつけていきたいと考えている。</p>
中野委員	<p>(6)安全安心な学校づくりの今年度予算231,223千円は主に人件費なのか。</p>
学校教育部長	<p>特別支援学級支援員、要配慮児童生徒支援員の賃金や就学援助等の扶助費の予算となっている。</p>
笛木委員	<p>給食費滞納者の金額等はどのくらいか。また、口座振替はできるのか。</p>

学校教育課長	<p>約 1,100 万円の滞納金がある。滞納額は前年度比で約 100 万円減少している。3 か月滞納者については児童手当の引落しができ、効果的に活用されており、やや減少傾向にあるため、今後も啓発していきたい。</p> <p>また、給食費の口座振替は可能であり、多くの学校で実施している。</p>
板垣会長	<p>豊かな人間関係づくりを核にした学級経営の充実の成果として、小学校では 91.5%、中学校は 73.3% の実施率となっているが、どのような内容か。</p>
学校教育部長	<p>「豊かな人間関係づくり実践プログラム」という千葉県独自の授業案がある。必ずやらなければならないという授業ではないが、中学校の実施率が低くなっている。道徳の授業等によって様々な指導は行っている。</p>
板垣会長	<p>中学校全体でプログラムをやってもらいたい。</p> <p>「目標 2」について説明を求めた。</p>
生涯学習部次長	< 目標 2 について説明 >
板垣会長	「目標 2」について質疑を求めた。
谷田貝委員	鈴木貫太郎記念館の見学者はどのくらいなのか。
生涯学習部次長	平成 28 年度は 6,921 人である。
谷田貝委員	鈴木貫太郎記念館展示解説ボランティアに登録している 12 名は、地元住民なのか。
生涯学習部次長	主に関宿地域の住民である。
谷田貝委員	鈴木貫太郎記念館は、郷土の偉人という捉え方でいくと、教育委員会だけではなく、観光協会等と連携して推進してほしい。
副市長	市としても地域の資源を生かした観光を考えている。 <p>鈴木貫太郎記念館も貴重な資源とっているので、教育委員会と協力しながら活用していきたい。</p>
藤田委員	(4) スポーツ・レクリエーション活動の機会の充実について、関宿城マラソン大会の参加選手の人数が に

<p>社会体育課長 藤田委員</p>	<p>なっているが、開催したのか。 1月28日に開催予定として進めている。 各種スポーツ教室の中で、グラウンドゴルフだけでなく、ゴルフも加えたらどうか。また、ゴルフ場の近くに安くできる広大な練習所を整備して、講師を呼んでゴルフ教室を行い、上手くなったらコースに出てもらいゴルフ人口を増やすということも考えたらどうか。</p>
<p>社会体育課長</p>	<p>合併後、しばらくの間、ゴルフ教室を開催していたが施設（民間のゴルフ練習場）の閉鎖と他の民間ゴルフ練習場で実施していることから、市では実施していない。 しかし、ゴルフ教室もスポーツの推進という点では実施すべきと考えており、開発協会と相談し、検討していきたい。</p>
<p>板垣会長 生涯学習部次長</p>	<p>「目標3」について説明を求めた。 &lt;目標3について説明&gt;</p>
<p>板垣会長 谷田貝委員 青少年課長 谷田貝委員</p>	<p>「目標3」について質疑を求めた。 関宿あおぞら広場の料金は無料か。 無料である。 関宿あおぞら広場の受付を鈴木貫太郎記念館で行っているのか。</p>
<p>青少年課長 谷田貝委員</p>	<p>鈴木貫太郎記念館と青少年センターで行っている。 関宿あおぞら広場は、子供の使用が少ないと聞いている。一部の方には好評であり、水も無料なので、市外の利用者に対してだけでも、鈴木貫太郎記念館の入場券とセットにし有料化したらどうか。</p>
<p>青少年課長</p>	<p>関宿あおぞら広場の一部は、地元の老人会がグラウンドゴルフに使用しており、他の施設で行っているグラウンドゴルフは無料であることから、ここだけ有料にすることは難しい。有料化については、行政管理課と調整しながら検討する。</p>

板垣委員	<p>家庭教育学級の充実について、公民館における連続講座の開設の内容は素晴らしいと思っているが、幼児や小学生の保護者は働いている人が多い。平日ではなく、日曜日等にすれば参加率が増えるのではないか。</p>
生涯学習部次長	<p>小学生の保護者を対象にした講座開設については、公民館で行うだけでなく、保護者の代表者の方の運営委員の中で開設の日程や内容も決めていただいて実施している。公民館に来ていただくだけでなく、例えば、就学時健康検診や中学校の保護者会に出向き、出前で家庭教育講演を行う等、こちらから出向くような方策も行っている。</p>
板垣会長	<p>今後も工夫してほしい。 その他、質疑を求めた。</p>
藤田委員	<p>各自治会で行われている体育祭について、今後の方針を教えてほしい。</p>
社会体育課長	<p>地区運動会補助金については、スポーツの推進や健康維持のほかに、地域コミュニティの醸成の観点から必要なものであると考えており、現在、補助金の交付要綱の見直しを行っている。</p> <p>補助金額については、現状維持と考えており、具体的には均等割の区分が現状では1,000世帯単位としているところを500単位に拡大し、現状の補助金額と同等の交付額となるよう考えている。また、世帯割額についても現状の1世帯当たり金額を維持したいと考えている。</p>
小松委員	<p>みずき小学校の鳩対策はどうなっているのか。</p>
学校教育課長	<p>業者に委託し、屋上に捕獲かごを取り付け、捕獲を試みているが、捕獲量があまり多くないことから、新しい方法を検討している。</p>

板垣会長

その他質問等がないため、午後0時45分、閉会を宣言した。

以上